

## 「結」 yui ～ 人と自然と歴史が織り成すサステイナブルコミュニティ ～

本提案では「都市と自然」という環境軸、「歴史と未来」という時間軸、「駅の東西」という交通軸、「人と人」というコミュニティ軸からなる4つの切り口において関係性を再構築する（結う）ことにより、中心市街地の持続的な活性化につなげることをコンセプトとしている。

### ■ 都市と自然を結う。

宿場町と川や農村との強い繋がりや都市化により失われたが、都市に自然を織り込むことにより、自然と共生する都市を実現する。

水と密接に関わってきた春日部の歴史を象徴する古利根川には、都市と自然の接点として親水利用と生態系保全とのバランスのとれた水辺空間を創出する。都市化により緑が少なくなった中心市街地には、鉄道高架化や市街地整備によりオープンスペースを生み出し、緑豊かな憩いの空間をつくる。

### ■ 歴史と未来を結う。

宿場町の歴史的な蔵や町家を保全し、交流空間として活用することにより、かつて人々が往来した宿場町の遺伝子を蘇らせる。町に散在する歴史的建物や伝統工芸店を巡る歩行者ネットワーク「あみだ道」を形成し、地域資源としてまちの活性化に生かす。

東口市街地整備地区にはまちなか居住に加えて、伝統工芸とアートを融合させた「匠ビレッジ」をつくり、若者に伝統工芸を継承し春日部のクリエイティブな都市文化として発信していく。

### ■ 駅の東西を結う。

鉄道高架化を契機として東西で分断されていた道路ネットワークを接続し、公共交通とマイカーの流れを再編することによって、人の流れを生み出して東西の市街地を一体化させる。また高架下の歩行者モールや駅周辺の歩車共存モールを整備して、歩行者と自転車に優しい歩いて楽しい街路空間とする。

### ■ 人と人を結う。

多世代の多様な市民が集まるコミュニティ施設を、交通利便性の高い駅周辺に配置する。コミュニティ施設に集まる市民どうしにつながりが生まれ、市民の連携を誘発して市民主体のコミュニティを醸成する。また参加型まちづくりにより、たくさんの市民がまちづくりの主役となれるような仕組みを構築し、官民協働のまちづくりを推進していく。

